

事業名 市民教室「地名に学ぶふるさと新発田」**目的** 市内の地名の由来を学ぶことで郷土の歴史や文化を再発見する**実施主体** 新発田市中央公民館、新発田地名研究会**参加対象** 新発田市民**参加者数** 86名**回数** 4回 **日数** 4日 **時間** 6時間**場所** 新発田市生涯学習センター**内容**

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	6月21日(土) 午後1時30分 ～午後3時	地名の初めから～地名の学び方と考え方～	新潟県地名研究会 会長 長谷川 勲
	内容・方法	これから地名学を学ぶ上での基本を学んだ。中でも古い地名は言葉が先に成立し、漢字はその後についたものであるという、常識を覆す事実を発見することができた。	
2	7月5日(土) 午後1時30分 ～午後3時	地名と伝説～語られる理由とその実像～	新潟県地名研究会 会長 長谷川 勲
	内容・方法	土地の伝説に由来するとされる地名の実例を挙げて紹介。しかし第一回目で学んだとおり、地名は言葉として先に成り立っているものであり、学問の世界では伝説は排除しなければならないということ学んだ。	
3	7月19日(土) 午後1時30分 ～午後3時	新発田市の地名～市内の地名の歴史と由来～	新潟県地名研究会 会長 長谷川 勲
	内容・方法	本題の新発田市内の地名の由来について学ぶ回。「新発田」の由来や漢字から推し量っていた地名の誤解まで幅広く解説いただいたが、一時間半という時間で全てを網羅することは難しかった。	
4	8月9日(土) 午後1時30分 ～午後3時	地名研究のこれから～地名から見える日本人の歴史～	新潟県地名研究会 会長 長谷川 勲
	内容・方法	総まとめ。日本全国各地の地名を講師自らが現地で写した写真とともに解説。地名はその形状を表すものが多いということを理解することができた。	

成果

- ・ 図表や現地の写真を多用し、わかりやすかったという意見が多く、当初の目的は達成できたと考える。
- ・ 共催の地名研究会に入会する受講者がいるなど、団体育成や生きがいに一役かうことができた。

課題

- ・ 内容的に四回という回数は少なかった。特に市内の地名に時間を割いてほしかったという意見が多く、講師との打ち合わせ不足であったことが反省点としてあげられる。

問合せ先 新発田市中央公民館（担当：斎藤） TEL：0254-22-8516